

JICA 環境社会配慮助言委員会 第 33 回全体会合
2013 年 2 月 4 日 (月) 14:30 ~ 17:30
JICA 本部 2 階 229 会議室
議事次第

1. 開会

2. 案件概要説明済みの WG スケジュール確認 (別紙 1 参照)

- (1) アフガニスタン国 カブール首都圏開発計画促進プロジェクト (都市内道路及び周縁道路計画策定サブプロジェクト) (開発計画調査型技術協力) ドラフトファイナルレポート
(3 月 4 日 (月))

3. ワーキンググループ会合報告および助言文書確定

- (1) カンボジア国 プノンペン新港経済特別区・関連施設建設事業 (協力準備調査 (有償 PPP)) スコーピング案 (1 月 7 日 (月))

4. 案件説明 (検討状況に係る報告)

- (1) インドネシア国 チラマヤ新港整備事業 (有償資金協力 (E/S))
(2) インドネシア国 西ジャワ州廃棄物処理施設整備 (有償資金協力 (E/S))

5. その他

6. 今後の会合スケジュール確認他

- ・次回全体会合 (第 34 回): 3 月 1 日 (金) 14:30 から (於 : JICA 本部)

7. 閉会

以上

インドネシア共和国 チラマヤ新港整備事業 (E/S)

国際協力機構
東南アジア・大洋州部 東南アジア第一課
2013年2月

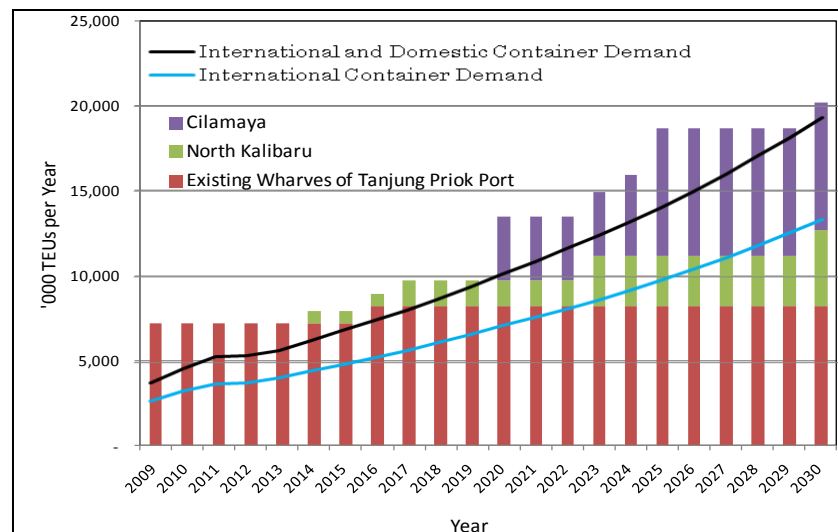
目次

1. 現状と課題
2. 事業概要
3. 事業対象地域
4. 今次E/S分審査時確認事項
5. 今後のスケジュール
6. 環境調査スケジュール

1. 現状と課題

■ジャカルタ首都圏の港湾セクターの現状

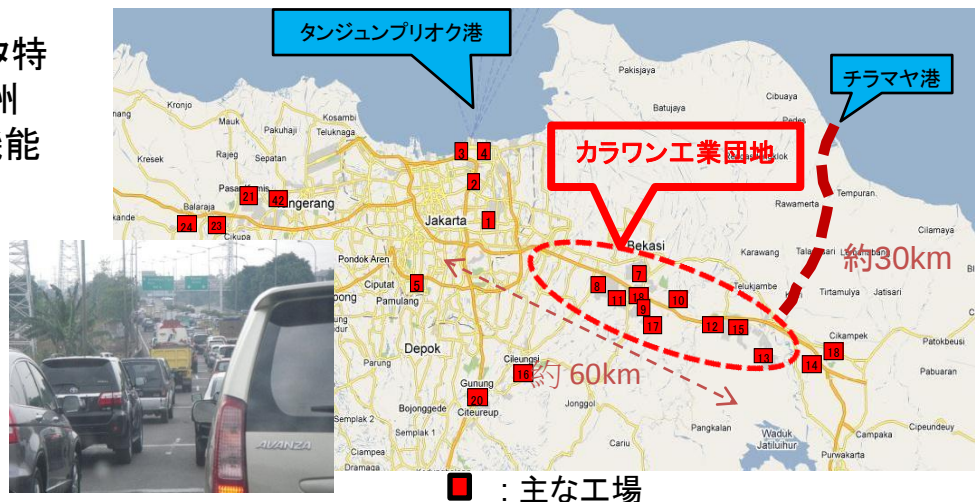
- 首都ジャカルタ特別州北部のタンジュンプリオク港は、ジャカルタ首都圏における唯一の国際コンテナ取り扱い港であるが、経済発展に伴い、貨物量は数年以内にその容量を超えると見込まれている。
- ジャカルタと東部工業団地を結ぶ高速道路は物流のボトルネックとなっており、2020年にはさらに悪化する見込み。



■ジャカルタ首都圏の港湾セクターにおける課題

- ジャカルタ首都圏東部工業団地（主にカラワン工業団地）に立地する民間企業にとって、港へのアクセス改善がビジネス上の課題となっている。
- 新たな国際ゲートウェイを設けることにより、ジャカルタ特別州に出入りする陸上交通量の抑制が期待でき、同州の深刻な交通渋滞の緩和により首都圏の港湾物流機能の強化を図る必要がある。

コンテナ取扱の需要と容量のバランス



2. 事業概要

■ 事業目的

ジャカルタ首都圏東部地域(チラマヤ地区)での新港及び同港へのアクセス道路等を建設することにより、成長著しいジャカルタ首都圏の港湾物流機能強化を図り、もって同地域の投資環境改善を通じた当国の国際競争力向上と更なる経済成長に寄与するもの。

■ 事業の概要 (今次E/S借款では、本事業のためのコンサルティング・サービスを対象)

① 港湾建設

➢ コンテナターミナル

岸壁延長840m * 水深17m * 4バース、岸壁延長450m * 水深12.5m * 2バース=全6バース
総取扱容量750万TEUs/年(フェース1、2で各375万TEUs/年) ※本事業はフェーズ1まで

➢ 自動車ターミナル

岸壁延長690m * 12.5m

➢ オイルターミナル

岸壁延長210m * 12.5m

➢ ローロー船ターミナル

岸壁延長170m * 6m

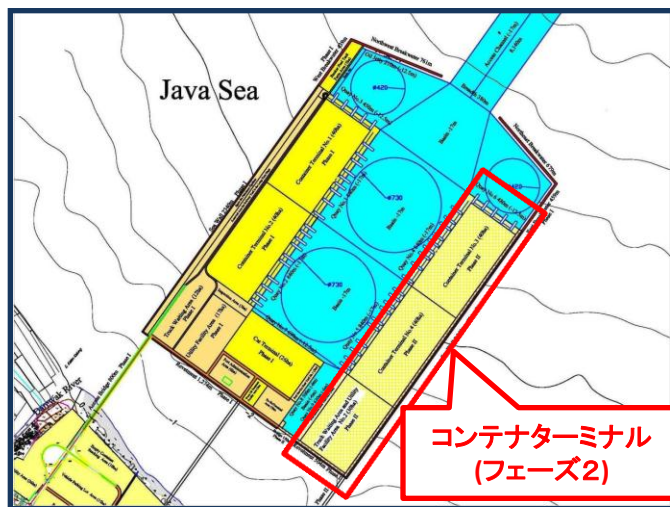
➢ 航路

幅380m、水深17m

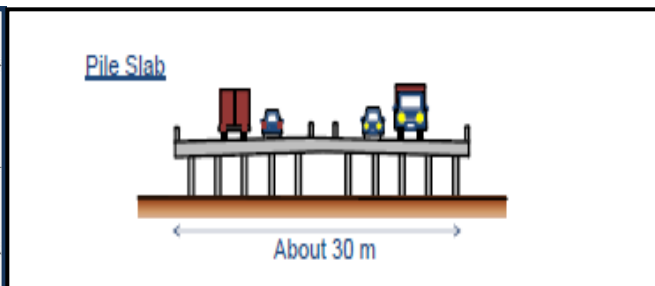
② アクセス道路建設

・高架式 30.5km

③ コンサルティング・サービス



港湾施設



アクセス道路
(高架式)

■ 環境カテゴリ分類:A (国際協力機構環境社会配慮ガイドライン 2010年4月)

上記ガイドラインに掲げる港湾・道路セクター、影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当するため。

3. 事業対象地域



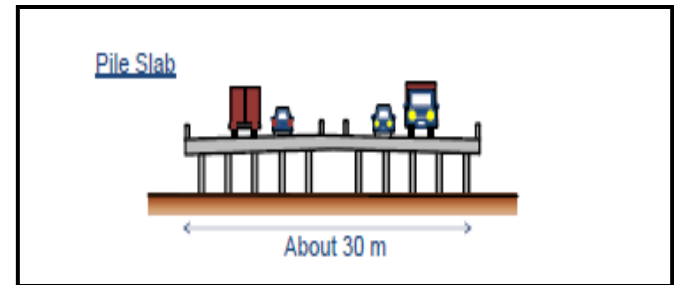
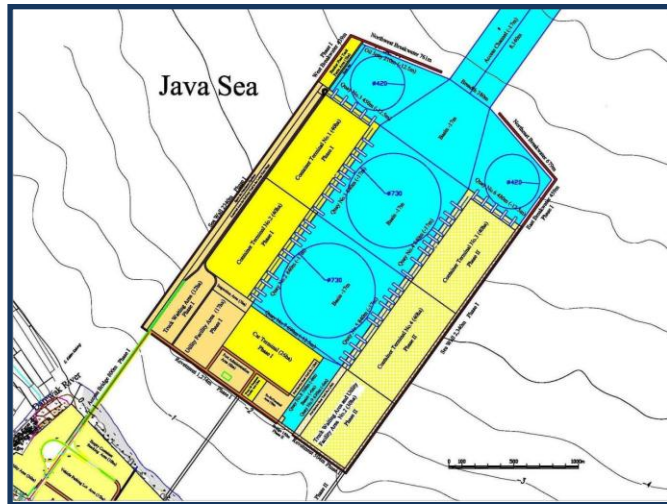
3. 事業対象地域(周辺の状況)



(港湾建設予定地)



(ジャカルターチカンペック高速道路)



4. 今次E/S分審査時確認事項

- 事業の必要性・妥当性

- 事業スコープ

 - コンサルタントTOR、M/M（詳細設計・入札補助）

- 事業スケジュール

- 事業実施運営体制、運営・維持管理体制

- E/S分事業コスト

- 供与条件

- 環境社会配慮関連スケジュール

5. 今後のスケジュール

年 月		2012		2013				2014
		7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
協力準備調査								
	協力準備調査							
	助言委員会（スコーピング）	★						
	助言委員会（DFR）					★		
E/S事業								
	助言委員会（E/S）			★				
	審査							
	E/N, L/A				★			
	コンサルタント選定							
	詳細設計							
本体事業								
	助言委員会（環境レビュー）						★	
	審査							
	E/N, L/A							★

6. 環境調査スケジュール

業務内容及び報告書	2012年												2013年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
環境調査既存データ収集		■	■	■	■	■																		
スコーピング作成（案）				■	■	■	■																	
現況調査（測定、分析）				■	■	■	■	■	■	■	■													
環境社会配慮助言委員会WG																			▲					
環境影響評価書（案）(AMDAL)										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	▲				
AMDAL許認可取得																				■	■	■	■	
住民移転計画書（案）															■	■	■	■	■	▲				

インドネシア共和国
西ジャワ州
廃棄物処理施設整備事業(E/S)

国際協力機構
東南アジア・大洋州部 東南アジア第一課
2013年2月

目次

1. 現状と課題
2. 事業概要
3. 事業対象地域
4. 今次E/S分審査時確認事項
5. 今後のスケジュール
6. 環境調査

1. 現状と課題

■インドネシア国内の廃棄物の現状

- オープンダンピングによる環境問題が全国的な課題。
- イ政府は各自治体管理下の最終処分場のうち、オープンダンピングを行っている施設の5年以内の閉鎖を規定 (Act Regarding Waste Management No.18, 2008年)
- 都市廃棄物についての各主体の役割と権限、廃棄物処理施設の建設の促進を同Actの中で規定。

■バンドン地域での廃棄物の現状

- 西ジャワ州全体で約5,500t/日の都市ごみがオープンダンピングされていると推計される。
- 2010年に廃棄物管理に関わる西ジャワ州政府規則を制定 (Provincial Regulation No. 12, 2010)
- バンドン都市圏では約1,000t/日の都市ごみが発生

2. 事業概要

■ 事業目的

本事業は西ジャワ州の州都バンドン市周辺地域において廃棄物処理施設を整備することにより、同地域における廃棄物の適正な処理の促進を図り、もって同地域住民の生活・衛生環境の改善、及び環境保全に寄与するもの。

■ 事業の概要

(今次E/S借款では、本事業のためのコンサルティング・サービスを対象)

①中間処理施設建設

- 分別処理施設建設
- コンポスト等関連施設建設

②最終処分場

- 衛生処分場建設
- 浸出水処理施設建設
- 埋立機材調達

③周辺施設建設・配送車両調達

- 道路・ゲート等建設、フェンス設置など

④コンサルティング・サービス

■ 環境カテゴリ分類:A (国際協力機構環境社会配慮ガイドライン 2010年4月)

上記ガイドラインに掲げる廃棄物処理・処分セクターに該当するため。

3. 事業対象地域



4. 今次E/S分審査時確認事項

- 事業の必要性・妥当性

- 事業スコープ

 - コンサルタントTOR(詳細設計、入札補助)、M/M

- 事業スケジュール

- 事業実施運営体制、運営・維持管理体制

- E/S分事業コスト

- 供与条件

- 環境社会配慮関連スケジュール

5. 今後のスケジュール

[illegible]

6. 環境調査

- インドネシア側においてPPP F/S提案スコープを対象としたEIAは承認済み(2012年10月)
- E/Sにおいて事業スコープを確定。上述EIAをレビューしつつ、必要があれば追加的なEIA実施支援を行う。